

宮ノ城  
川本城

《吉田町川本》  
《吉田町川本・中馬》

シリーズ「お城拝見！」第六十八回

安芸高田市歴史民俗博物館  
学芸員 秋本哲治

【登城ガイド】(上:川本城、下:宮の城)  
標高/220m、290m、比高/13m、80m  
史跡指定/未指定  
城主/堀江氏、関野氏?、不明  
所要時間/国道バス停から徒歩3分、東麓の花咲公園から徒歩約20分

編集後記

広報担当として、取材を通じ、知ってるつもり市の市内の情報や人材について新たな発見も多くあり、伝える大切さと喜びを学ばせてもらっています。今回、地域とともに、ハンドボールを通じて、子供たちの成長を育む取組みに強く感銘を受けました。(久光)

雨とカエルの音に耳を傾けながら、編集後記を書いている今日この頃です。この度の取材では、地域の子とも達とたくさんのお会いがありました。あどけない笑顔の園児達。ひたむきに練習に取り組む中学生。かつて自身が経験した青春を思い返しながら、6月号で子どもたちの青春の1ページを記事にできたことを嬉しく思います。(森山)

今月の表紙

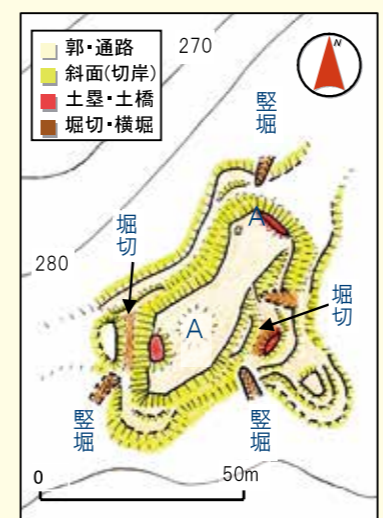
吉田幼稚園の園庭開放へ行ってきました。1歳〜3歳までの子供たちが遊びに来ていました。表紙を飾ってくれたのは、西名花穂ちゃん。幼稚園で一緒に遊んだ後、帰り際かわいい傘をさしながら、何度も笑顔で手を振ってくれました。市内の幼稚園・保育園では、毎月園庭開放・体験入園を開催されています。いっしょに子育ての輪をひろげていきましょう。



川本城・宮ノ城遠望(南側より撮影)



周辺位置図



川本城略測図(作図 秋本哲治)

**立地**：ともに可愛地区の中心部にあります。宮ノ城は地名にもなっていますが、東側と南側に可愛川が流れており、山頂には埃宮神社があります。現在は国道で分断され、独立した丘陵になっていますが、かつては川本城から延びる尾根が繋がっていた可能性もあります。川本城は桂、福原、中馬、常友方面がよく見渡せる山頂部にあり、中腹には川本古墳群があります。

**歴史**：宮ノ城については江戸前期の「高田郡村々覚書」などでは、神社があったこの地に大内家臣の堀江氏が城を築き、後に毛利家臣の関野氏の城となったが館が消失し、3つの社をここに戻したとあります。川本城については伝承等が不明です。

**城跡**：宮ノ城は神社やその参道、車道などの設置によりかなり地形が改変されています。城としての遺構が残っているかも不明ですが、東側・南側は川に加え急斜面であるため北側を向いていたようにも見えます。川本城は郭面の凹凸が多く、一部古墳の跡と思われる地形もあります。郭Aを中心に、堀切、堅堀、土塁が残ります。全体としては東側から北側を向いているようです。

**地名**：「可愛」という地名は江戸時代にはありません。日本書紀の神話にちなんで「可愛」「埃宮」、明治以降に「吉田川」「大川」と呼ばれていた江の川が「可愛川」とされ、その後明治22年に可愛村という村名になりました。

いっしょに遊ぼう

人輝くまちの情報誌「広報あきたかた」  
Akitakata

NO.148  
6  
2016.JUN

発行編集 安芸高田市 政策企画課 〒731-0592 広島県安芸高田市吉田町吉田791 Tel.(0826)42-5627 Fax.(0826)42-4376 http://www.akitakata.jp/

(今月の主な内容)

- 2ページ 特集 浜田一義市長の戦略 ~三期目に向けて~
- 4ページ 特集 平成27年度仕事目標の成果
- 20ページ 特集 祝甲田中学校男子ハンドボール部全国大会初優勝!